

第2学年7組 道徳指導案

- 1 主題名 自分らしく生きることの大切さ〔内容項目A—(3):自己の伸長〕(1時間完了)
(資料名 「私は十四歳」 出典:明日をひらく(東京書籍))

2 ねらい

部活動に行き詰まりを感じ、充実感を味わえなくなってやめてしまったが、その後時間をかけ悩みながら、別の活動で自分磨きをしていく主人公の変化をとらえることを通して、周囲の価値観にとらわれず、自分に大切なことを自分のペースで探し、自分らしさとは何かを考える道徳的な思考・判断力を高める。

3 ねらいとする道徳的価値

携帯電話のアプリ「LINE」を使って、他者とコミュニケーションをとり、実生活の中での人間関係が希薄となっている中学生は、「みんなと同じ」が最も安心できる状況であると思い込み、そこから抜け出す機会を逃すことが多い。他人と群れる中で安心し、変わらなければという思いはもってはいるものの、自己の内面を見つめる時間をゲームや携帯電話などで埋めてしまいがちである。「個性」を主張しながらも、自分自身の「個性」を「みんなと同じ」に安住して、自身を成長させられない思春期のこの時期に、「自分らしさ」を考えることの大切さ、あえて一人になって考える強さ、容易にはたどり着けない「自分らしさ」の価値について改めて考えさせたい。そして、今の中学生の思春期の時期は、「個性」を磨く途上にある大事な時期であることに気づき、自分磨きをしていこうという気持ちを高めたい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

本学級は、どの教科においても比較的挙手・発言が多く、活発で積極的な授業態度が見られる。道徳の授業でも本音を表出することができる和やかな雰囲気と、互いの意見を受け入れたり、場面によっては積極的に反論したりしようという態度を養ってきた。

2年生のこの時期、大半の生徒は活発に部活動に取り組む中で、けがや学習意欲の低下、家庭生活の乱れなどにより、部活動への参加や継続が危ぶまれる生徒が現れ始めてきている。目標を失い、ともすれば現実から逃避しようとする態度や行動をとる生徒が見られる。

本時を通して、今自分に何が必要であり、これからどのような目標を設定していけばよいのか、また、すぐに見つけられるとは限らない目標を、常に意識しながら生活を送るために大切なことは何か、最後に「自分らしさ」とはどのように見出していくものなのかについて考えさせたい。まだ小学生と変わらない程度の単純な思考しかできない生徒がいる。こうした幼さを克服し、少しでも「立志の年」を迎えるにふさわしい大人への第一歩を踏み出せるよう、主人公の心情に迫り、自己の内面に投影し、判断力、実践力を身につけてほしいと願う。

(2) 抽出生徒について

① 抽出生徒Aについて

Aはあまり活発な生徒ではないので、好んで体を動かす方ではない。しかし、多くの男子生徒が運動部を目指すようにAも運動部に入部した。1年生の頃はそれなりに参加し、技術的に劣ることなく、むしろ器用に技術を習得しつつあったが、けがを機に不参加の状態になった。2年生になり復帰を考えたものの、すでに技術的には大きく溝を開けられてしまい、人間関係も疎遠になって、以前のように練習に打ち込める意欲がなくなってしまったため、転部を考えた。文化部を志望し、顧問へ転部届けを準備する段階になっても届け出が書けず、学習も滞りがちになった。

道徳の授業では独自の考えをもち本音を語るが、そうした考えを行動に移せないところがある。資料を通して、友達とは違っていても自分にとって心地よいと感じることが大切であり、「私」のように自分のペースでじっくり探す過程で出会うかもしれない「自分らしさ」に気づくことで、迷っている自分を見つめ直す機会にさせたい。

②抽出生徒Bについて

Bは聡明で、人間関係も良好であり、責任感が強く、常に毅然とした態度や発言をすることで学級の全員から信頼を得ている。道徳の授業では、独自の視点で発言することが多く、Bの意見が出るとみんな納得してしまう。現在習い事を続けるかどうか迷っているBは、「私」に共感するものの「やめない」を選択すると予想する。他の生徒とは異なり、やめないために見直しが必要なことを考える視点を評価するとともに、習い事も自分らしさを表現するために欠かせないものの一つであるという気持ちを肯定したい。

5 資料について

(1) 資料の概要

主人公「私」は14歳、中学2年生。小学校4年生からバスケットボールを始め、遊びの延長から本格的な練習を経て、小学校6年生の時に市内ベスト8になる。弱小チームから這い上がり、辛い練習を通して、「やればできる」という達成感、チームメイトと励まし合う友情のすばらしさを体験し、これが自分らしいと充実感を感じて中学校へ入学、バスケットボール部に入部する。しかし、中学校の部活動は想像以上に厳しく、学習との両立もままならない状況に陥り、レギュラーになる可能性もないと感じ、3か月で退部してしまう。

チームを離れて一人で行動し、自分の本当にやりたいことは何かを模索する中でジャズダンスに出会い、新たな自己表現に目覚めていく「私」の成長途上の描写である。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料との対話をさせるための手だて

「私」がたった3か月で部活動をやめてしまったことを印象づけるために、活躍した小学校時代から中学校で自信を失うまでの部分で範読を区切る。たった3か月でやめてしまった「私」をどう思うかを、「仕方ない」と「やめないほうがよい」に分けて色カードで意思表示させた後、理由をワークシートに書かせて相互指名で発表させる。その後再度資料に戻り、小学校4年生で始めたバスケットボールにのめり込んでいく「私」の心情を考えさせるため、選手としての「私」の成長とチームの成長に関するキーワードを黒板に貼ってていねいに追いながら、心情を書いた色画用紙カードを使って、感情の盛り上がりから自分を見失うまでを可視化することで資料との対話の一助とする。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

可視化した色画用紙を見て達成感・充実感と悲壮感の落差を把握し、『私』は今まで経験したことがないくらい自信がなくなった」という「私」の心情に深く迫ったところで「あなただったら、やめるかやめないか」の意志表示を同じく色カードで行った後、ワークシートに理由を書かせ、発表させる。ここで「私」の行動に対する考えと、自分だったらどうするかを問う時の回答が同じになるとは限らないので、異なる色カードを表示した生徒から発表させ、自分のことになると考えが変わる理由を発表させる。自己内対話を充実させるためには、他の生徒の意見に耳を傾け、それに対してどう思うかと考えることが大切である。そこで「今の意見についてあなたは どう思う？」と問い返し再度自分に問いかける。この問いに対して抽出生徒Aは「やめる」、Bは「やめない」と答えると予想する。その理由を明らかにしながら発表させる。Aに対してはやめた後の行動を、Bに対してはやめないためにはどうするのかを発表させ、他の生徒も「自分なら どうするだろうか」と真剣に考えられるようにする。

後半の場面で、「私」が部活動以外の活動を通して自分らしさを追い求めていく先でジャズダンスに出会い、バスケットボール以外の活動で自己表現の楽しさを見出すまでの描写から、新しいことに挑戦しようとする気持ちが大切であり、「自分らしい」生き方に出会うまでは時間が必要であることに気づかせる。

6 板書計画 (次々ページ参照)

7 本時の展開

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
1 5	<p>○資料前半の範読を聞く。</p> <p>部活動をやめてしまった「私」をどう思うか？</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈仕方ない〉</p> <p>両立できないならやめた方がよい。</p> <p>部活動がいやになったのではなく、余裕がなくなったから。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈やめない方がよい〉</p> <p>3か月でやめるのは早すぎる。(①)</p> <p>頑張ればレギュラーになれるかも。今後どうなるかわからない。</p> </div> </div>	<p>※赤・黄のカードで意思表示をさせることで級友の考えを視界的にとらえ、理解できるようにする。</p> <p>※①の意見が出たら、バスケットボールの経歴は3か月だけではなく、すでに2年以上が経過していると確認することで、初心者ではないことを気づかせる。(①C: 気づかせる)</p>
1 5	<p>あなたなら、どうするか？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈やめる〉</p> <p>上達しているという成果が出ないなら。</p> <p>練習が厳しくて耐えられないなら。</p> <p>スポーツで高校受験するわけではないから、勉強する。</p> <p>もっと楽な部活動に変わる。自分の時間ができるから。(②)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈やめない〉</p> <p>今までの努力が台無しだからやめない。</p> <p>やめないけど、さぼるかも。</p> <p>部活動内で人間関係ができてしまっていて、やめにくいから。</p> <p>もう一度生活を見直す。(②)</p> </div> </div>	<p>※「私」の選手としての活躍から自信を失うまでの心の変化を、色画用紙に書いたキーワードを黒板に貼って視覚化することで心理状態を理解し、自分のこととして考えられるようにする。</p> <p>※抽出生徒Aを意図的に指名して、「やめる」後の行動を考えさせることで、具体的な自分の行動を予想できるようにする。(②B: 生かす)</p> <p>※抽出生徒Bも意図的に指名して、「やめない」ために生活を見直す意見を出させることで、簡単にやめないための方法を共有できるようにする。(②B: 生かす)</p>
2 5	<p>○資料後半の範読を聞く。</p>	<p>☆「私」の心情に迫り、自分のこととして考えることができたか。</p>
2 8	<p>ジャズダンスに出会えたのは、「私」がどんな気持ちでいたからだろうか。</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>新しいことに挑戦したから。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>体を思いっきり動かしたから。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>だれにも負けないものがほしかったから。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>表現する楽しさや喜びを味わえるものに出会ったから。</p> </div> </div>	<p>(発言、ワークシート)</p> <p>※新しいことに挑戦したり、体を動かしたりしたかった気持ちは、最終的にはジャズダンスが自己表現の可能性を広げてくれたことにたどり着く過程であることを確認する。</p>

3 5

自分らしく生きるために大切なことは何だと思うか。

人の意見にまどわされないこと。

楽しいと思える自分に正直な気持ち。

実際にやってみること。

時間が大切。(3)

4 3

- 資料最後の範読を聞く。
- 振り返りをする。
- 振り返りを発表する。

「他の人と同じでなくてもいい」「時間をかけてもいい」「自分の気持ちに正直にやりたいことをやってみる」それが自分らしさにつながっていくという感想や意見を発表させることで、これから踏み出す一歩に希望がもてるような終末にする。

「私」の心情に深く迫り、自信を失っていく状況を理解したうえで、自己内対話を深めながら、周囲の価値観にとらわれず、じっくり考え行動していこうとする気持ちを高める姿。

※「時間が大切」という意見が出たら「時間って何の時間」と意味を問うことで、「自分らしさ」に出会うための時間なのか、あきらめずにやりぬくための時間なのか考えさせる。(3E:ゆさぶる)

※「私」が自分をつくるためにこれまでの殻を破り、挑戦していこうとする様子を読むことで、自分磨きの楽しさに触れすがすがしい気持ちになれるようにする。
※影響を受けた友達の意見も書くように指示する。

☆「私」の経験と成長途上にある姿を自己に投影し、自分にとって何が大切か、自分らしさとは何かを多面的に考えることができたか。
(発言、ワークシート)

授業の視点

- ① 「私」のバスケットボールにおける成長とチームの成長を色画用紙に書いたキーワードで視覚化したことは、「私」の心情に迫るうえで、また他人事ではなく自分自身のこととして深く考えるうえで有効であったか。
- ② ③Eで「時間」の意味にこだわったことは、中心発問に対するコーディネート支援として、ねらいに迫るうえで有効であったか。

板書計画

一

部活動をやめてしまった「私」をどう思う？

仕方ない

- 両立できないなら
- 失うものが多いなら
- 今までと状況が違う

やめないほうがよい

- 三か月では早すぎる
- 一度やめると癖がつく
- またレギュラーになれるかも

あなたならどうする？

やめる

やめない

二

- 成果が出ないなら
- 練習が厳しいなら
- 楽な部活動にする
- 今までの努力が台無し
- やめないけどさぼるかも
- もう一度生活を見直す

三

ジャズダンスに出会えたのは「私」がどんな気持ちでいたから？


- 新しい自分を見つけたかったから。
- 体を思いっきり動かしたかったから。

四

自分らしい生き方をするために大切なことは何？

- 実際にやってみる。
- 人の意見にまどわされない。
- 本当にやりたいものを探す。
- 時間が大切。

「私は十四歳」



私

小四

バスケットを始める

充実感

市内ベスト8

達成感

ポイントゲッター5

自分らしさ

×学習と両立

×スタメン

自信がない